

令和7年4月16日

敦賀市立看護大学後援会  
会員各位

敦賀市立看護大学後援会  
会長 梶川 和則

令和7年度敦賀市立看護大学後援会  
臨時総会書面決議の結果について

春嵐の候 皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、みだしの臨時総会について、下記のとおり可決されましたので、報告させていただきます。

今後とも、皆さまのご意見をいただきながら、学生の活動支援に取り組んでまいり所存でございますので、本会にご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 決議書回収数

総数226に対し、回収数106でした。

2. 各議案の賛否確認結果

第1号議案 令和7年度役員決定について 承認106/非承認0により可決

\*後援会会則第12条および第13条に基づき、出席者(回答者)の過半数が承認であったことにより、可決されました。

【後援会事務局】

敦賀市立看護大学  
教務学生課 橋本  
Tel 0770-20-5540

## 議案に対する質問・意見等

少数ではありますが、ご質問・ご意見がありましたので、下記のとおり報告及び回答とさせていただきます。

### <ご意見>

- ・学園祭の内容、案内をメールでお知らせして欲しい
- ・実習交通費はみんなが同額の負担になるようにしていただきたいです

### <回答>

昨年度の大学祭（海凜祭）は、11月に開催されました。あいにくの雨模様ではございましたが、地域のさまざまな団体による出店やステージ企画などが行われ、たくさんの来場者が楽しめるなど、大盛況のうちに終了しました。また、海凜祭を企画・運営された学生自治会のみなさまにおかれましては、公私とも大変忙しい中で尽力され、4月に学長表彰されたと聞いております。本年度の海凜祭の開催日については現時点で未定とのことですが、開催情報が入り次第、大学を通じ、ホームページへの掲載や後援会メールにて情報発信させていただきますので今しばらくお待ちください。

さて、昨年度の後援会事業についてですが、後援会事業に関する学生アンケートを通じて寄せられた学生の声にお応えし、新たに臨地実習交通費助成金事業を立ち上げました。学生のみなさまからも好評で、喜びの声が多数聞かれました。一方で、実習交通費が全員一律になるよう求める声もありました。臨地実習に関しては大学が行うものですので、大学の見解をお伺いしました。回答は以下のとおりです。

“本学の臨地実習は、敦賀市内外の多くの医療機関や施設の協力で成り立っています。それは、すべて学生が円滑に、また、充実した実習を行うためです。臨地実習の質を担保するためには、学生ごとに実習先を割り振り、その結果として実習先までの交通費に差が生じることはやむを得ないものと考えます。”

また、後援会としてできる支援にも限界があり、学生の居住地、交通手段、実習期間の滞在方法などすべてを考慮した制度設計は困難を極めますが、後援会としてできる限りの支援を継続して参りたいと存じますので、通常総会において忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

保護者のみなさまのご心配、ご不安は尽きることがないかと存じますが、引き続き、心身ともに支えとなってくださいますようお願い申し上げます。

本年度も、大学と学生を後方から支援する有意義な事業計画案を会員の皆様にご提案できるよう役員一同努めさせていただきます。

1年間お世話になりますが、何卒よろしくお願いいたします。